

のりしき  
らちきふふふ  
なりしき  
まいしき  
のりしき  
さくしき

のりしき  
まいしき  
のりしき  
さくしき

のりしき  
らちきふふふ  
なりしき  
まいしき  
のりしき  
さくしき  
のりしき  
らちきふふふ  
なりしき  
まいしき  
のりしき  
さくしき

のりしき  
らちきふふふ  
なりしき  
まいしき  
のりしき  
さくしき

のりしき  
らちきふふふ  
なりしき  
まいしき  
のりしき  
さくしき

のりしき  
らちきふふふ  
なりしき  
まいしき  
のりしき  
さくしき





年不詳十月十四日付け仙石忠政書状（仙石家17―16号）

返々よくく  
るすいたし候べく候、  
ふみ見候て、  
大けいくにて候、  
かしく、

ふみまんそく申候、  
なに事なく、  
そくさいのよし、  
大けいにて候、  
せつかく今日は  
きけんよくいた  
し、まち候べく候、  
われくも、やかて  
ひまあき候まま、  
かへり候て、あい

（芝子）（政俊）  
可申候、およめ・兵介  
きにちかいましく候、  
うまき物みやけ  
をもち候て、  
とらせ可申候、

かしく、  
（忠政）  
十月十四日 たたまさ

（政勝）  
まん千世 まいる